

6月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん		7,634	103	8,162	84	89	83	0	-	青森、千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。千葉産は2月の降雪被害で出荷期がずれ込んでいるが、全体の入荷量は前年をわずかに上回る見込み。キャベツ、ハクサイなどの重量野菜の不足がないため、荷動きは鈍く、価格は前年を下回る見込み。
にんじん		6,435	100	6,514	139	101	137	0	-	千葉産中心の入荷で全体の約7割を占める。千葉産は播種遅れや生育不良の巻き直しもあり、6月後半の増量が見込まれる。全体の入荷量は、価格共に前年並み。
はくさい		5,197	100	5,676	57	96	55	0	-	長野、茨城、群馬産中心の入荷で全体の9割を占める。出遅れが懸念された準高冷地、高冷地産とも平年並み、終盤となった茨城県産も前年並みの入荷の見込み。全体の入荷量、価格とも前年並みとなる見込み。
ほうれんそう		1,286	105	1,491	443	95	415	0	-	東北、関東が主産地となる。各産地とも雨待ち状態にある。入荷の増減は田植え作業の関連もあるが、大きな遅れもないため、入荷量は前年並みで前年をやや上回る見込み。価格は前年よりやや下回るが平年は上回る見込み。
キャベツ類		13,580	110	15,678	81	86	65	0	-	千葉、茨城、群馬産中心の入荷で全体の約8割を占める。終盤である千葉産は安定入荷、群馬県産も出遅れはなく、全体入荷量は前年を上回る見込み。価格は前年よりやや下回るが、平年よりは高い見込み。
ねぎ		3,885	105	4,261	367	82	323	0	0	茨城、千葉産中心の入荷で全体の8割を占める。乾燥気味の天候ながら、遅れもなく肥大状況は前年よりも良好。今後の天候次第だが、太物比率は前年より高く入荷量は前年をやや上回る見込み。価格は前年を下回る見込み。
きゅうり		6,853	85	7,309	270	104	237	109	2	埼玉、福島、宮城、秋田産中心の入荷となる。東北産の入荷は順調であるが、関東産は降雪被害で減少しており、全体の入荷量は前年を下回る見込み。品薄を反映し、価格は前年をやや上回る見込み。
なす		3,162	90	3,222	316	114	357	0	-	高知、群馬、福岡産中心の入荷となる。西南暖地産が前年並みの入荷予想の中、後発の主力産地群馬産の減少幅大きく、全体の入荷量は前年を下回る見込み。価格は前年を上回るが、前年並みの見込み。
トマト		9,286	98	8,934	249	108	275	190	2	関東・西南暖地からの入荷。関東の一部産地が降雪被害の後遺症もあり、全体の入荷量は前年をわずかに下回る見込み。価格は前年を上回るが前年並みの見込み。